

和歌山徳島航路利用促進事業（社会実験）実施中**開始日から 7 月末までの実績は前年比 48.9%増でした**

南海電気鉄道株式会社（社長：巨 信二 / 所在地：大阪市中央区）の子会社である南海フェリー株式会社（社長：兜 秀昭 / 所在地：和歌山市）では、和歌山県、徳島県の支援を受けて 7 月 18 日（土）から 8 月 31 日（月）まで、和歌山・徳島ナンバー、または和歌山・徳島県内で宿泊の乗用車を対象に、フェリー利用料金（運転者含む）を 1,000 円にする「和歌山徳島航路利用促進事業（社会実験）」を実施中です。

このたび、開始日である 7 月 18 日（土）から 7 月 31 日（金）までの実績を集計いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

フェリー 1,000 円社会実験実施前後の輸送実績（乗用車の乗船台数）

期 間	対前年比
（実施前）	
平成 21 年 4 月	29.5%
5 月	23.0%
6 月	20.4%
4 月～6 月	24.6%
7 月 1 日～17 日	27.3%
（実施後）	
7 月 18 日～31 日	48.9%

平成 21 年 3 月下旬から高速道路で 1,000 円割引実施

7 月 18 日～31 日の乗船台数は 8,314 台でした。うち約 83%（6,934 台）が社会実験対象車両であり、

内訳は 和歌山ナンバー 2,882 台
徳島ナンバー 2,610 台
宿泊対象車 1,442 台 となりました。

以上